

教員紹介

氏名	杉本 吉史	担当科目	刑事訴訟実務の基礎、 刑事法総合演習
略 歴			
出身地	大阪府生まれ		
出身大学等	1985年 京都大学法学部卒業		
取得学位	学士（法学）		
職 歴	1985年 司法修習生（39期） 1987年 大阪弁護士会登録 1987年 大阪法律事務所入所 2002年 NPO法人「大阪被害者支援アドボカシーセンター」理事 2006年 大阪簡易裁判所民事調停委員（現在に到る） 2007年 被害者支援シンポジウム「関係機関との連携による被害者支援」コーディネーター 2007年 大阪地方裁判所民事調停委員（現在に到る） 2008年 日弁連犯罪被害者支援委員会副委員長（2009年5月まで） 2008年 被害者支援シンポジウム「犯罪被害者の現状と必要な支援」コーディネーター 2016年 大阪市立大学大学院法学研究科特任教授		
在外研究歴			
社会貢献等			

主要研究業績等

主 著 等

主著：

- ・「逮捕・勾留・保釈と弁護」（共著）（1996年5月、日本評論社）
- ・「接見・拘留・保釈・鑑定留置裁判例33選」（共著）（1998年8月、現代人文社）
- ・「犯罪被害者支援と弁護士」（共著）（2000年6月、東京法令出版）
- ・「ケーススタディ被害者参加制度 2訂版」（共著）（2017年9月、東京法令出版）

主論文：

- ・「ケーススタディ (3) -パラノイア」（共著）（季刊刑事弁護 17号、1989年1月）
- ・「無罪判決を受けた場合どうするか」（刑事弁護の技術（上）1994年10月）
- ・「オウム真理教が巻き起こした諸現象と法律的諸問題」（大阪経済法科大学法学研究所紀要 23号、1996年9月）
- ・「大阪弁護士会犯罪被害者支援センターの実践と課題（特集 犯罪被害者への対処とケア）」（共著）（自由と正義 51巻 8号、2000年8月）
- ・「犯罪被害者、遺族と刑事弁護」（大阪弁護士会会報第212号、2000年11月）
- ・「犯罪被害者支援の立場からみた被害者参加制度と損害賠償命令制度」（月刊大阪弁護士会 653号、2008年11月）
- ・「犯罪被害者の支援に関わって」（捜査研究 802号 2017年10月）